



# 最上川中流大規模氾濫時の減災対策協議会

## R3年度の取組状況



令和 4年 5月 23日 (月)  
新庄河川事務所



# 「第10回 最上川中流大規模氾濫時の減災対策協議会」

令和3年7月30日(金)開催

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてWEB会議にて開催 (場所: 国土交通省 新庄河川事務所 2F大会議室)

『伝える・促す・動く』を目標とした減災対策への取組みの継続・実施を確認

**概要**

- ①令和2年度取組と令和3年度取組予定(情報提供)
  - ・国(各参画機関)、山形地方気象台、山形県
- ②令和3年度 最上川中流の減災に係る取組方針(案)について
  - ・最上川中流の減災に係る取組方針(R3~7年度)

**議事内容・主な意見**

- ①令和2年度取組と令和3年度取組予定(情報提供)
  - 【国(各参画機関)】  
大規模氾濫時に備えた3つの目標『伝える・促す・動く』の取組状況及び今後の取組予定(各参画機関)について説明・確認を行った。
  - 【山形地方気象台】  
顕著な大雨に関する情報、記録的短時間大雨情報の改善等について説明・確認を行った。
  - 【山形県】  
県管理河川におけるホットラインの実施状況、可搬式排水ポンプの操作訓練、簡易型河川監視カメラの設置、土砂災害警戒システム等について説明・確認を行った。
  - 【新庄河川事務所】  
国管理河川における指定河川洪水予報の予測時間延長、「防災用語ウェブサイト」の開設等について説明・確認を行った。
- ②最上川中流の減災に係る取組方針(案)について  
R3年度から7年度までの新たな取組方針(案)について提案、意見交換を行い、了承された。

---

【主な意見等】

- ・マイタイムラインの必要性を再認識。
- ・今年3月に要配慮者利用施設避難確保計画の作成ができ、これから避難確保計画を基に避難訓練を実施していく。
- ・警察も本協議会に参加をしてもらうことで、情報共有を図ってはどうか。
- ・住民一人一人が防災情報を共有していくことが重要。
- ・要配慮者施設での避難体制をどのように実践するかが課題。



- 協議会構成員**
- 新庄市長
  - 大石田町長
  - 最上町長
  - 真室川町長
  - 鮭川村長
  - 最上広域市町村圏事務組合 理事長
  - 農林水産省 東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長
  - 山形県 防災くらし安心部 防災危機管理課長  
農林水産部 農村整備課長  
県土整備部 河川課長  
砂防・災害対策課長
  - 村山総合支庁 建設部長  
最上総合支庁 建設部長
  - 気象庁 山形地方気象台長
  - 国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所長
- 【事務局】
- 国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 調査課
  - 山形県 県土整備部 河川課



## ①気象・水文情報・避難に必要なリスク情報等の共有手法の整備

### <取組項目：洪水ハザードマップの公表状況>

市町村名	公表状況		備考
	R3年度末	R4年度以降予定	
新庄市	完了	—	
尾花沢市	国管理河川完了		丹生川・朧気川・野尻川
大石田町	R4.3完了、公表	—	丹生川・朧気川・野尻川
金山町	完了	—	
最上町	完了	—	
舟形町	完了	—	
真室川町	完了	—	
大蔵村	完了	—	
鮭川村	完了	—	
戸沢村	完了	—	
<b>県管理河川：洪水予報及び水位周知河川が対象</b>			



# ①気象・水文情報・避難に必要なリスク情報等の共有手法の整備

## <取組項目：避難体制強化のための水災害リスク情報の充実>

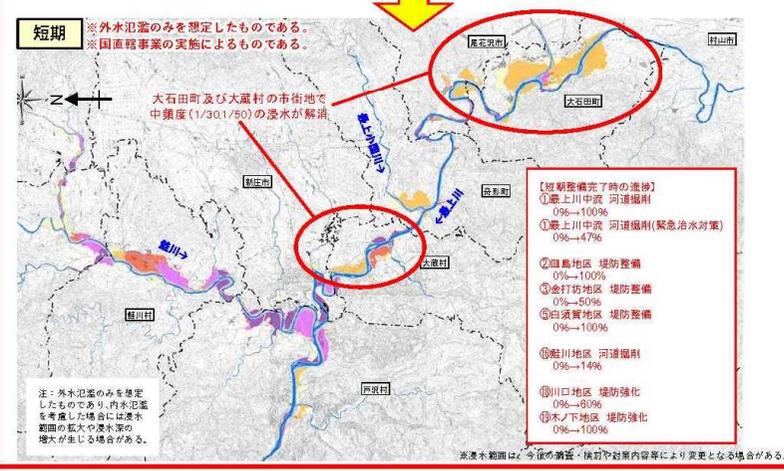
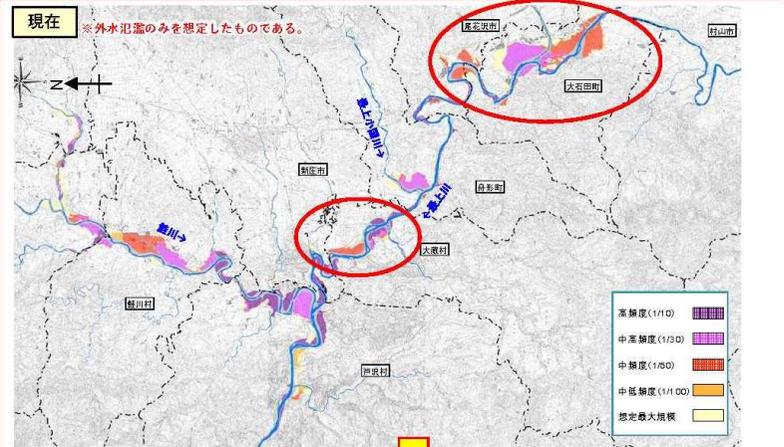
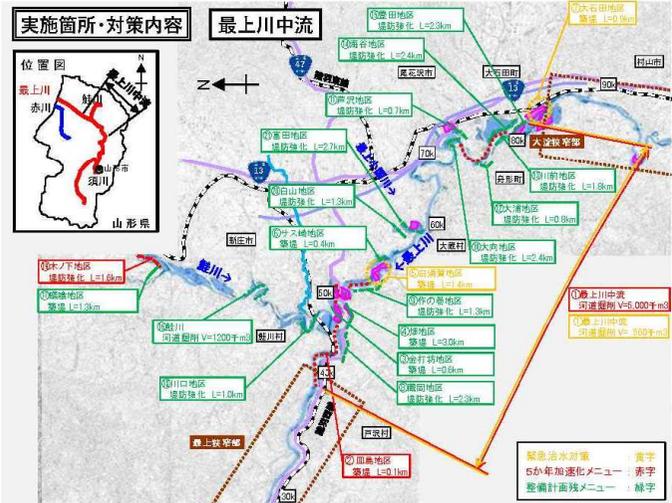
**最上川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】**

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～ **最上川中流**

**進捗と効果**  
 R4.3版

○最上川中流においては、5ヶ年加速化メニューと併せて、大規模災害関連事業における河道掘削の実施により外水氾濫による浸水頻度の軽減が図られる。

**短期整備(5ヶ年加速化対策)効果：河川整備率 約70%→約79%**



区分	対策内容	区間	完成率	工程		
				15ヶ年加速化(外費)短期(03~07年)	中期(08~11年)	中長期(12~)
最上川	河道掘削	①最上川中流	100%	100%	100%	
		②大蔵地区	100%	100%	100%	
		③大蔵地区	100%	100%	100%	
		④大蔵地区	100%	100%	100%	
		⑤大蔵地区	100%	100%	100%	
		⑥大蔵地区	100%	100%	100%	
		⑦大蔵地区	100%	100%	100%	
		⑧大蔵地区	100%	100%	100%	
		⑨大蔵地区	100%	100%	100%	
		⑩大蔵地区	100%	100%	100%	
大蔵川	河道掘削	①大蔵川	100%	100%	100%	
		②大蔵川	100%	100%	100%	
		③大蔵川	100%	100%	100%	
		④大蔵川	100%	100%	100%	
		⑤大蔵川	100%	100%	100%	
		⑥大蔵川	100%	100%	100%	
		⑦大蔵川	100%	100%	100%	
		⑧大蔵川	100%	100%	100%	
		⑨大蔵川	100%	100%	100%	
		⑩大蔵川	100%	100%	100%	
最上小川	河道掘削	①最上小川	100%	100%	100%	
		②最上小川	100%	100%	100%	
		③最上小川	100%	100%	100%	
		④最上小川	100%	100%	100%	
		⑤最上小川	100%	100%	100%	
		⑥最上小川	100%	100%	100%	
		⑦最上小川	100%	100%	100%	
		⑧最上小川	100%	100%	100%	
		⑨最上小川	100%	100%	100%	
		⑩最上小川	100%	100%	100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



## ②住民が自ら避難行動を行うための防災教育等の啓発活動

### <取組項目：講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進>

市町村名	マイタイムラインの作成・普及活動		備考
	R3年度実施	R4年度実施予定	
新庄市	未実施	出前講座の希望状況により選定	
尾花沢市	未実施		
大石田町	作成講習会は2地区で自主的に実施 (四日町・緑町地区)		
金山町	防災出前講座時に説明 (金山地域20名、山崎地区15名、場地区15名)	防災出前講座時に説明(通年)	
最上町	未実施		
舟形町	未実施	検討	
真室川町	未実施		
大蔵村	未実施	検討	
鮭川村	マイタイムライン作成講習会の実施 (下絵馬河地区15名参加)	上絵馬河地区で説明会を実施予定(6月)	
戸沢村	未実施		





## ②住民が自ら避難行動を行うための防災教育等の啓発活動

＜取組内容：巡回パネル展 ～令和2年7月豪雨から1年～＞

山形県の風水害として過去最大の被害額となった令和2年7月豪雨から1年が経過することを踏まえ、地域の防災意識向上及び大規模氾濫時の減災対策協議会における広報活動の一環として、昨年度1月末に公表した「最上川中流・上流緊急治水プロジェクト」対象市町村において、巡回パネル展を開催



# 令和2年7月豪雨 巡回パネル展

巡回パネル展 2021年7月5日(月)～7月30日(金)

市町村	会場	開催期間
山形県	山形県生涯学習センター遊学館	7月5日(月)～7月16日(金)
大江市	大江町中央公民館	7月5日(月)～7月9日(金)
大石田町	大石田町役場 町民ホール	7月5日(月)～7月9日(金)
尾花沢市	尾花沢市民図書館	7月5日(月)～7月9日(金)
中山町	中山町立図書館「ほんわか」1階ギャラリー	7月12日(月)～7月16日(金)
河北町	道の駅河北「ぶらっとひみ」2階展示スペース	7月12日(月)～7月16日(金)
大蔵村	大蔵村中央公民館2階ロビー	7月12日(月)～7月16日(金)
新庄市	最上広域交流センター ゆめりあ	7月12日(月)～7月16日(金)
東根市	さくらんぼ東根駅自由通路	7月26日(月)～7月30日(金)
村山市	村山市役所ロビー	7月26日(月)～7月30日(金)
戸沢村	戸沢村役場	7月26日(月)～7月30日(金)
舟形町	舟形町役場 庁舎玄関ホール	7月26日(月)～7月30日(金)

主催：最上川流域治水協議会  
 山形県、尾花沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、羽河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、鶴岡市、山田町、中山町、河北町、五川町、朝日町、大江市、大石田町、金山町、五上町、舟形町、東宮川町、大蔵村、川西村、高橋町、小田町、白旗町、尾花沢市、三好町、庄内町、遊佐町、最上広域町村協議会、尾花沢市、東北森林管理、森林整備センター、山形地方気象台、最上川中流治水協議会、上山市土地改良区、東北電力株式会社、山形県、国土交通省

令和3年度 巡回パネル展 ～令和2年7月豪雨から1年～

会場	開催期間	日数	開館時間 (休館日)
尾花沢市民図書館 (尾花沢市)	7/5(月)～7/9(金)	5	9:00～19:00 (第2・4月曜)
大石田町役場 町民ホール (大石田町)	7/5(月)～7/9(金)	5	8:30～17:15 (土・日・祝日)
最上広域交流センター ゆめりあ (新庄市)	7/12(月)～7/16(金)	5	8:30～21:00
大蔵村中央公民館 2階ロビー (大蔵村)	7/12(月)～7/16(金)	5	8:30～17:00
舟形町役場 庁舎玄関ホール (舟形町)	7/26(月)～7/30(金)	5	8:30～17:00 (17:00～8:30夜間)
戸沢村役場 (戸沢村)	7/26(月)～7/30(金)	5	8:30～17:15 (土・日・祝日)



促す

①住民が自ら避難行動を行うための防災教育等の啓発活動

＜取組内容：流域自治体との洪水対応演習＞

令和3年6月4日（金）新庄河川事務所 大会議室において、大規模洪水による堤防決壊を想定し、関係機関との情報伝達訓練や災害復旧などについて演習を行いました。

- 主な演習内容 —
- 1) 洪水予報・水防警報の発令・伝達訓練
  - 2) 河川管理施設の点検・情報伝達訓練
  - 3) 真室川町長と事務所長のホットライン  
(携帯電話及びWeb会議)
  - 4) 東北地方整備局とのTV会議
  - 5) 緊急復旧の演習
  - 6) 防災エキスパート、リエゾン派遣
- 参加機関 —
- 真室川町、防災エキスパート、新庄河川事務所の職員約40名が参加



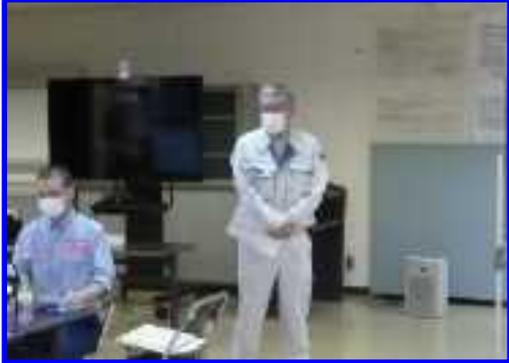
真室川町長とWebによるホットライン



東北地方整備局とのTV会議



洪水対応演習のようす



防災エキスパートによる講評

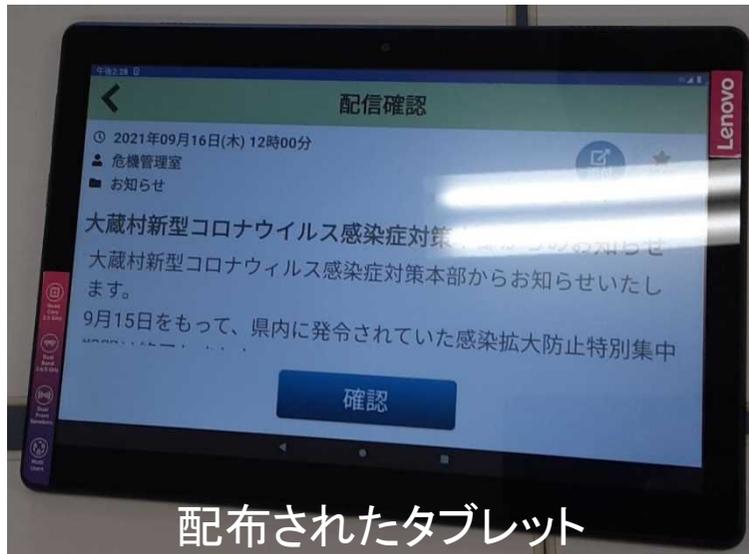
**「防災エキスパート」とは**  
 長年、公共土木施設の整備、管理に携わってきた方を「防災エキスパート」として登録し、「ボランティア」として災害時に被害情報の収集や災害復旧の指導・助言に協力いただく制度で、平成7年に創設されました。



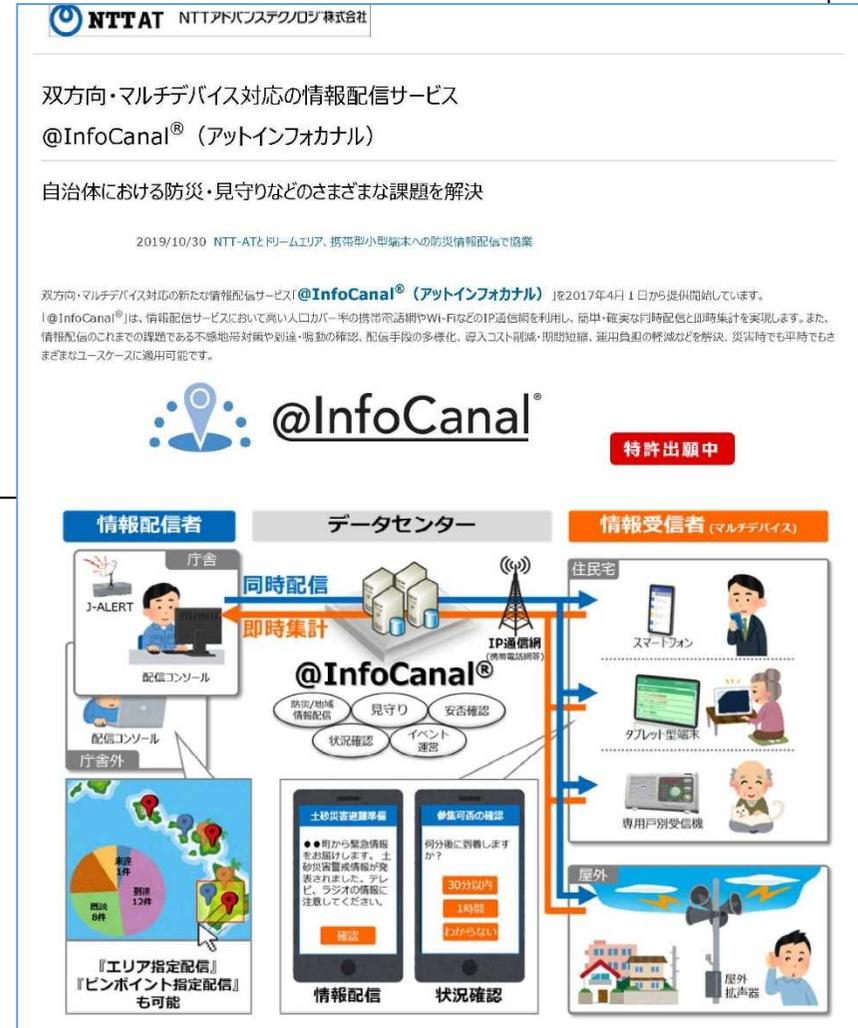
## ②避難のきっかけとなる情報提供・伝達手法の改善

### <取組内容：災害時においても確実に情報提供が行えるシステムの構築> 防災一斉配信システム（タブレット）の整備 【大蔵村】

- ◆大蔵村では、新型コロナウイルス感染対策に係る交付金を活用し、防災一斉配信システムとして「タブレット（@インフォカナル）」を全戸配布
  - 高齢者世帯（約280世帯）を先行し、10月末には全戸配布（約1000世帯）を完了
  - 現在は、新型コロナに関する情報と危機管理情報を配信
  - 地域別、消防団等各種団体のグループ毎の配信も可能
  - 確認ボタンにより、高齢者の見守りも可能
  - WIFI環境の無い高齢者世帯の通信費（500円/月・世帯）は村で負担。
  - 災害時の河川情報、道路の交通情報を配信
  - 将来的には広報誌もシステム配信に切替を検討



配布されたタブレット





### ③支援が必要な要配慮者が迅速・確実に避難出来る体制の構築

#### <取組内容：要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進>

市町村名	全施設数	避難確保計画作成状況		避難訓練の状況		備考
		R3年度末作成完了	R4年度作成予定	R3年度実施済	R4年度実施予定	
新庄市	20施設	4施設	16施設	3施設		
尾花沢市	1施設	1施設	—	0施設		作成:完了
大石田町	8施設	8施設	—	2施設		作成:完了
金山町	2施設	2施設	—	1施設	2施設	作成:完了
最上町	4施設	4施設	—	3施設	3施設	作成:完了
舟形町	5施設	5施設	—	5施設		作成:完了
真室川町	10施設	10施設	—	8施設	10施設	作成:完了
大蔵村	3施設	2施設	1施設	2施設	3施設	
鮭川村	1施設	0施設	1施設	0施設	1施設	
戸沢村	0施設	—	—	—	—	対象施設無

対象となる要配慮者施設：浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内の施設





# ①住民が自ら考え行動するための取り組み <取組項目：まるごとまちごとハザードマップの促進> (舟形町)

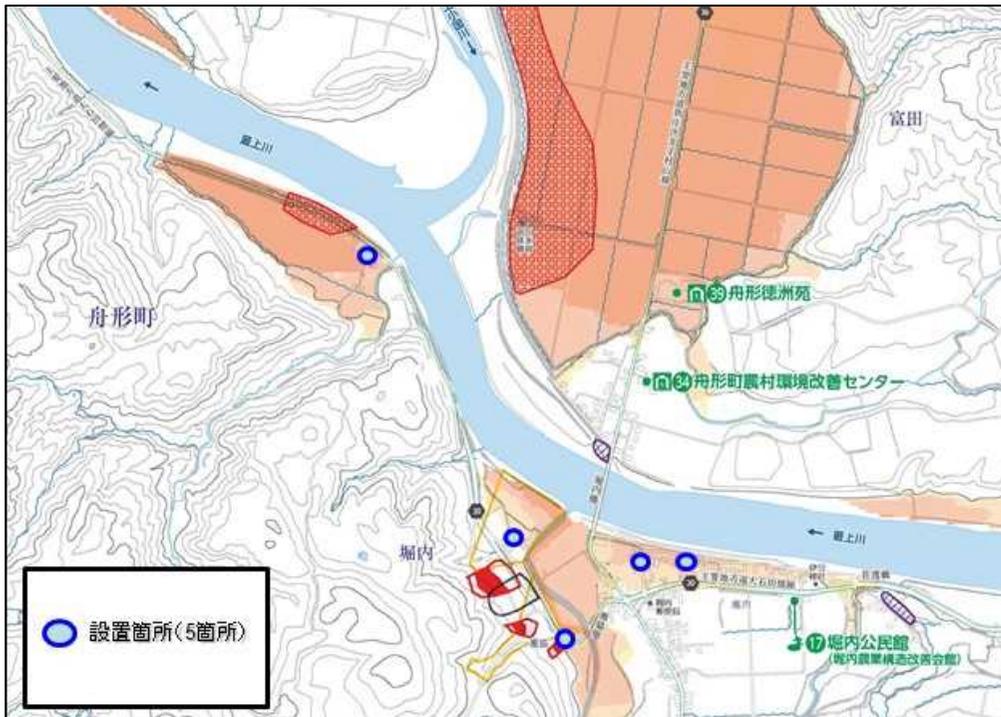
## ◆事業の背景・目的

令和元年度に舟形町堀内地区において、生活空間である「まち」のなかに地区の洪水にかかる各種上表標識を表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の作成に取り組み、令和3年8月に「想定浸水深の表示看板」を地区内5箇所を設置しました。

設置は、舟形町消防団が実施しました。

## ◆設置箇所

舟形町堀内地内の電柱5箇所



設置した看板



住民・自治体・国によるワーキングの様子



舟形町消防団による設置の様子



# ①行政機関等が住民の暮らしと生命を守るために動く取組

## <取組項目：排水作業計画作成の推進>

### 排水作業準備計画

大規模氾濫時に長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水作業準備計画を作成するものとする。

- ①浸水氾濫特性の把握：排水作業準備計画に必要な資料収集・整理を行い「最上川水系（中流）浸水想定区域図（想定最大規模）」をもとに、浸水深や浸水継続時間、浸水想定区域内の重要施設等、想定被害額を氾濫ブロックごとに把握するものとする。
- ②排水作業必要ブロックの抽出：防災拠点（役場、消防署、警察等）および主要道路（国道等）など重要施設の浸水状況から、排水作業準備計画検討の必要性が高い箇所を4ブロック抽出するものとする。
- ③排水作業準備計画の検討：抽出した4ブロックを対象に、以下の点に留意して、排水ポンプ車等の設置箇所や待機場所等を検討する。検討結果をもとに、全体図、進入ルート図、排水ポンプ車の配置図をまとめた排水作業準備計画を作成する。
  - ・効率的に排水が実施できる箇所（氾濫水が集まりやすい箇所）
  - ・排水ポンプ車等の設置スペース      ・排水元（釜場）、排水先
  - ・進入ルート      ・復旧工事車両との輻輳      ・燃料の補給体制

### 排水作業必要ブロックの抽出

- ・防災機能の早期回復、破堤氾濫後の災害復旧の観点から、排水作業準備計画の必要性が高い箇所を抽出
  - ①防災拠点（役場、警察署、消防署）が浸水するブロック
  - ②主要道路が浸水し、かつ浸水継続時間が長期間（3日間）にわたるブロック
  - ③上記のほか、最上川中流の各市町村を網羅
- ・令和3年度までに以下の14ブロックが作成済み

氾濫ブロック名	市町村名	氾濫ブロック名	市町村名
横山地区（MOL-1）	大石田町	鶴の子地区（MOR-20）	新庄市
今宿地区（MOR-2）	大石田町	真柄・古口地区（MOL-17）	戸沢村
大石田・豊田地区（MOR-3）	大石田町	名高地区（SR-7）	戸沢村
毒沢地区（MOL-8）	尾花沢市	庭月地区（SL-1）	鮭川村
堀内地区（MOL-10）	舟形町	庭月・真室川・新田平岡地区（KL-MAL-1）	真室川町
白須賀地区（MOL-13）	大蔵村	安久土地区（KR-3）	真室川町
清水地区（MOR-13）	大蔵村	凝山地区（KR-1）	金山町



# 排水作業準備計画

## 排水作業準備計画の検討

### (1) 効率的排水が実施できる箇所抽出

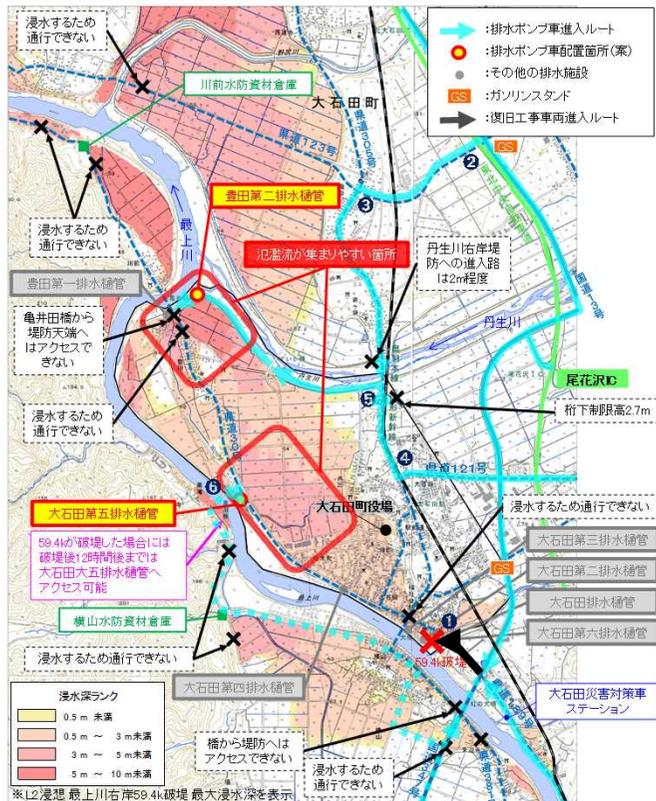
- 平成30年7月西日本豪雨災害  
釜場がない地点でも排水を実施
- 平成27年9月関東・東北豪雨災害  
支援車両の到着は、約24時間後
- 本検討の抽出条件  
24時間後の浸水範囲  
空気連行(空気吸込)が生じない浸水深1.2m



<排水箇所の検討(大石田、豊田工区)>

### (2) 排水ポンプ車等の設置スペース、釜場の検討

- 既設排水施設の釜場の有無を確認、幅員不足や浸水時のアクセスを検討
- 排水ポンプ車3台、照明車1台を1パーティ(約50m)とし、最大配置可能台数を検討



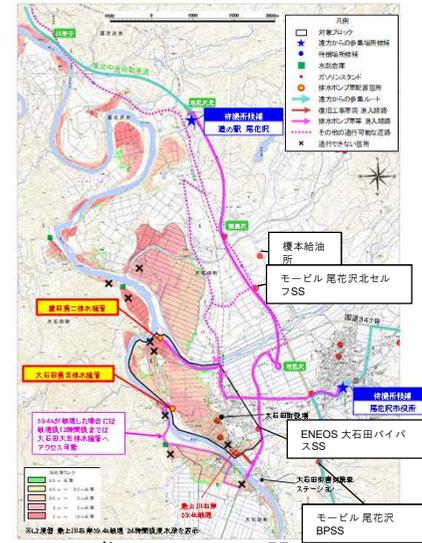
<釜場の有無、釜場へのアクセス>

### (3) 進入ルート、待機場所の選定

- 応援車両の参集場所として、駐車スペースを考慮し「道の駅」等を抽出
- 排水箇所までの所要時間から待機場所を選定し、進入ルートを設定



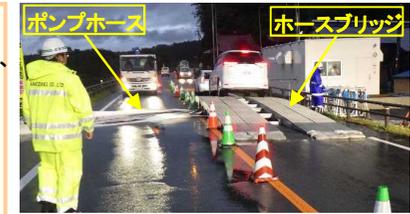
<待機場所の選定(道の駅尾花沢)>



<進入ルートの設定>

### (4) 復旧工事車両との輻輳

- 破堤地点の上流からアクセスを基本として、破堤地点までのルートを設定
- 排水作業地点(堤防天端)で、復旧工事車両の交通に支障がないことを確認。
- 排水作業地点で車両の往來を考慮し、ホースブリッジで対策を想定



<ホースブリッジ(R1.10.13 (台風19号)戸沢村蔵岡)>

### (5) 資材調達、燃料補給体制

- 各ブロックで浸水したときに、利用可能な水防倉庫の抽出
- 排水ポンプ車の連続運転を想定し、排水作業箇所近傍の燃料補給箇所を整理(進入ルートの設定図に併記)

区分	水防資材倉庫	大石田、豊田地区
鳥越	真柄水防資材倉庫	○ ○
出場所	堀内水防資材倉庫	○ ○
大石田	大溝水防資材倉庫	× ×
出場所	川前水防資材倉庫	× ×
	横山水防資材倉庫	× ×
	大石田災害対策車	× ×
豊田	真室川水防資材倉庫	○ ○
出場所	豊田水防資材倉庫	○ ○

<利用可能な水防倉庫>

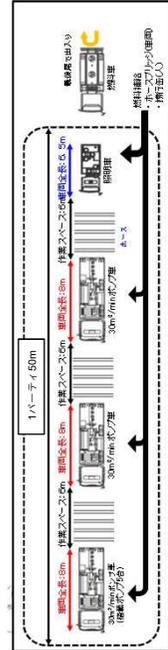
### (6) 排水作業準備計画書の作成

- 4ブロックを対象に、検討結果を排水準備計画書として整理した。

ブロック	対象区域	ページ
ブロック①	大石田、豊田地区	P 2
ブロック②	清水地区	P 8
ブロック③	真柄、古口地区	P 14
ブロック④	蔵岡、真室川、新田平岡地区	P 21

参考資料1 水防資材倉庫の位置、位置、資材一覧表 参考資料5  
 参考資料2 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料6  
 参考資料3 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料7  
 参考資料4 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料8  
 参考資料5 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料9  
 参考資料6 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料10  
 参考資料7 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料11  
 参考資料8 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料12  
 参考資料9 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料13  
 参考資料10 水防資材倉庫の位置、位置、ポンプ配置可能台数等 参考資料14

<排水作業準備計画書>



<最大設置可能台数の検討>



## 最上川中流大規模氾濫時の減災対策協議会

### R4年度の取組方針

- 洪水ハザードマップ（L2）の公表の完了
- 要配慮者施設における避難確保計画作成の促進及び避難訓練の実施
- マイ・タイムラインの作成・普及に向けた出前講座等の実施
- 流域治水・減災対策 巡回パネル展の実施  
7月～（各自治体2週間程度）  
※各自治体の取り組みに関する紹介
- 流域治水（減災対策）に関する個別勉強会の開催の実施  
（尾花沢市、最上町、金山町、戸沢村、鮭川村ほか）

促す

①住民が自ら避難行動を行うための防災教育等の啓発活動

＜取組内容：流域自治体との洪水対応演習＞

令和4年5月13日（金）新庄河川事務所 大会議室において、大規模洪水による堤防決壊を想定し関係機関との情報伝達訓練や災害復旧などについて演習を行いました。

— 主な演習内容 —

- 1) 洪水予報・水防警報の発令・伝達訓練
- 2) 河川管理施設の点検・情報伝達訓練
- 3) 大蔵村とのホットラインによる情報共有
- 4) 緊急復旧計画作成
- 5) 防災エキスパート、リエゾン派遣

＝ 参加機関 ＝

大蔵村、防災エキスパート、  
新庄河川事務所・出張所職員  
約40名が参加



破堤箇所の緊急復旧を検討中



防災エキスパートによる講評



大蔵村と事務所長による  
ホットライン



演習実施状況